

テーブル形横中ぐり フライス盤導入による 品質及び生産性の向上

建設用車輛の部品製造、特注品の試作製造及び、部品製造時における治具の製造を行う当社では、治具について顧客から、これまで以上の品質と短納期化についての要望があった。治具は機械製造において、主に加工や組み立ての際、部品や工具の作業位置を指示・誘導に用いられる。そこで、横中ぐりフライス盤を導入し、業界内での競争力を強化する。



01 取り組みの経緯

治具製造について、従来の機械設備を用いる場合は、建設用車輛製造企業などの顧客から提出いただく紙ベースでの図面データを切削加工用にCADデータに変換することから始まる。そして、材料切断、溶接、切削加工と進める。ところが、治具の面が多面体であるほど面加工の度に捨て加工やレベル調整などの作業工程と共に作業時間も要していた。作業工程が多くなると、その分、作業ミスも起こりやすくなり、精度や品質にも影響してしまう。

02 実施内容

生産効率を上げながら、品質も向上させるために、本事業にて『テーブル形横中ぐりフライス盤』を導入。導入設備を扱うにあたり、数日間の技術指導を受け、その後に不明点等あれば、電話指導いただけたおかげで、導入設備を扱える人材を育てることもできた。なお、設備の導入・設置後に実施した切削加工テストでは、従来の加工前に必要だったレベル調整や、捨て加工、位置決め、固定などの段取り時間の短縮とともに、加工にかかる時間も大幅に短縮。



03 成果

切削加工テストでは、段取りと実加工合わせて約1/20ほどの加工時間に抑えられた。さらに、作業工程を大幅に削れるため、ミスによる不具合が減り不良品も減少。また、切削加工時間の短縮及び、不良品の減少により、処分品の削減と繁忙期等に活用していた外注費、運送費等の不随コストも大幅に削減できた。これにより、顧客からの紹介など新規顧客獲得にもつながっている。今後、売り上げ増加見込み及び、製造工の新規採用も実施していく。



高い品質と精度が強み。新規プロジェクトや試作に必要となる複雑な形状の部品や特注品など、高効率で加工製造。

本事業で導入した『横中ぐりフライス盤』では、円筒面や端面を連続的に加工可能。特注部品や、多面加工が必要となる複雑な形状であっても、短時間で高い精度と品質を実現できる。建設用車輛の特注部品や試作品製造等においても、環境に配慮した当社での一貫生産で高効率に。

代表者メッセージ



代表取締役
砂川 昌幸

当社の強みが明確になり、今後のさらなる成長に向けて邁進。あとは行動していくのみです。

今後の事業拡大に向けて新規開拓を計画していたところに、新型コロナウイルスの影響は大きかったです。とは言え、まずは通常モードから非常モードへの切り替えです。ピンチはチャンス。これまで忙しくて手がまわっていなかった新たな新規導入設備の習得や、図面展開の効率化、体質改善に力を注ぎ、いつでもすぐ立ち上がり動き出せるよう、パワーアップするチャンスをつかみたいと考えています。

企業情報

所在地	香川県さぬき市鴨庄4374-78
TEL	087-894-2814
設立	1979年4月
代表者	砂川 昌幸
業種	その他の金属製品製造業
従業員数	20名
事業内容	鉄骨建築設計、施工、製缶、プラント、部品加工